

# これからは離島が沖縄を元気にする

しかし、交通・生活コストの負担や地場産業・若者たちの雇用問題、子どもたちの教育環境、高齢化社会の医療・福祉体制など課題は山積しています。

沖縄は、東西 1000km 南北 400km の広大な海域に本島を含む多数の離島が点在する。視点を変わると身近には無尽蔵の海洋資源があり、これを農水産業、造水、エネルギー、教育、産業観光に利用できる技術を活用すればこれまでの「島」に対する概念を根底から変えることになる。

海洋深層水取水増設の技術でビジネスモデルを目指す久米島は、SDGs (持続可能な開発目標) 県がめざす持続可能な社会でも、また太平洋島嶼国等に対して国際先導的なモデルを示すことになる。

だからこそ、次なる振興計画は離島政策が中心になることが重要である。

## 令和元年11月定例会(質問)

**モリオ** 離島で処理できない廃棄物の処理・回収ルートの構築について

**県答弁** 島内処理に向けた小型焼却炉の設置や分別処理費用の削減を目的として令和2年度3町村でモデル事業を実施する計画。県全体で6,871㎡の海岸漂着ゴミが確認されており、市町村が実施する回収・処理事業費の9割を補助している。県予算額1億5千万円、国の補助制度を活用して回収・処理体制を強化していく。



**モリオ** 周辺離島の公共事業の発注状況について

**県答弁** 平成30年度県の土木工事が契約件数23件、金額約9億7千万円、平均落札率94.2%。建築工事が4件、約2億4千万円、落札率98%。農林水産部で契約件数22件、金額約18億5千万円となっております。

**モリオ** 地域の活性化においても公共工事の地元優先発注と事業の促進が必要である。

## 令和2年2月定例会(質問)

**モリオ** 久米島の海洋深層水取水増設事業の県の取組み状況について

**県答弁** 3月に第2回の会議を行う予定、今予想される国の補助金、交付金について町が事業主体となる場合は国からの補助金となります。県も上乗せについては可能か含めて、法的問題点・持続性・収支計画等や整備する財源をどの様にするのか検討中です。



**お問い合わせ・相談窓口** 行政相談等お困りの時は、お気軽にご相談ください。

### 小禄事務所

住所：〒901-0152 那覇市小禄390番地1階  
TEL：098-840-1060  
FAX：098-859-2080

### 沖縄県議会 無所属の会

住所：〒900-8501 那覇市泉崎1-2-3  
TEL (098) 866-2584  
FAX (098) 866-2575



離島で暮らす皆様へ

まっすぐ真剣に政治に挑む!

議会活動  
報告だより  
Vol.20

沖縄県議会  
議員

# 當間モリオ

## がんばろう沖縄!



### 下地モリオ議員とともに、実現!!

- ◆久米島パークゴルフ場拡張施設整備
- ◆久米島兼城港の拡張整備
- ◆粟国港うねり改善の港湾改修事業
- ◆久米島2隻目のフェリーの導入
- ◆座間味村高速船の泊ふ頭停泊地問題を解決
- ◆周辺離島水道広域化で水道料金の低減



## 當間盛夫プロフィール

昭和35年9月7日 那覇市小禄生まれ  
昭和51年3月 小禄中学校卒業  
昭和54年3月 豊見城高等学校卒業  
昭和58年3月 阪南大学卒業  
昭和58年4月 小禄農業協同組合就職  
平成13年7月 那覇市議会議員初当選  
平成16年6月 沖縄県議会議員初当選  
平成28年6月 四期目当選

### 令和2年6月7日 沖縄県議会議員選挙!

#### 那覇市・南部離島選挙区

- ・那覇市・久米島町
- ・北大東村・南大東村
- ・渡嘉敷村・座間味村
- ・粟国村・渡名喜村



- 総務企画委員会
- 米軍基地関係特別委員会
- 那覇港管理組合議会

# 新たな振興計画は、離島政策が中心に!!

## ○島での生活を楽しくする

離島ごとに課題は別々である。でも運賃を安くすること、生活コストを低減することは共通です。公共交通と考え運賃を低減することが観光客など流動人口を増し生活コストの軽減になり離島での定住促進にもなる、県が実行する重要な離島振興政策です。

- ※本島在住離島出身者家族への割引制度の創設、観光割引制度の充実
- ※慶良間・粟国・渡名喜・久米島での周遊高速船導入で観光客増加
- ※粟国村の航空路の早期再開を支援
- ※低コスト木造構造で景観に配慮した公営住宅促進



粟国村視察



粟国村視察

## ○離島から東京大学をめざす

次世代通信5Gが離島を変える。東大だけが目標ではないが離島で勉強することが難関大学合格への近道になるような環境になりえる。教育費無償化は島で生きる子育て世代の負担軽減になる。遠隔医療が更に進化し、本島の病院との診察が変わる。

- ※情報通信技術の高度化で遠隔授業、高等学校や特別支援学校支援強化
- ※教育費無償化で、離島家庭の教育費負担が更に軽減される支援
- ※高度な情報通信技術で遠隔医療の促進、ドクターヘリの充実
- ※本島での歯科や医療受診に係る交通費・宿泊費を一括交付金で負担軽減



# 新たな振興計画は、離島政策が中心に!!



総務企画委員会 南大東村視察

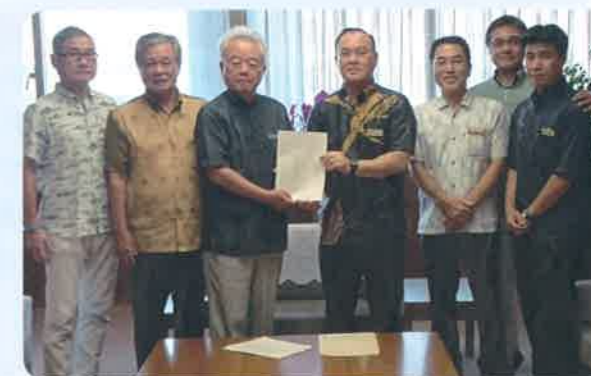


総務企画委員会 北大東村視察

## ○海洋深層水の活用は「国際先導的モデル事業」

久米島の海洋深層水取水増設10万tは最も重要な産業振興となる。雇用が生まれ、研究所ができ、人財育成にもなる。今、世界は異常気象が続き魚などの資源は減少、水も重要な問題にもなっている。久米島モデルが世界の環境や産業に大きく貢献する時が来た。

- ※久米島海洋深層水取水増設で久米島発産業創出、人財育成雇用に貢献する
- ※研究機関や技術支援で農水産業の六次産業化、効率的な流通体制の構築
- ※水道広域化で「安心・安全・安価な水道水の供給」全島早期実施



久米島町より県副知事へ要請

## ○離島が在るからこそ沖縄は成長する

有人離島が在るからこそ日本は広大な海域を領海として活用し成長してきた。自然環境は離島の宝でもあります。それを守り維持していくのはそこで暮らす人々です。エネルギー、廃棄物処理でも実証実験ではなく島で出来る事は島で行い、利益を循環する社会の構築、真剣に離島振興に取り組んでいきます。

- ※太陽光・海洋自然エネルギーの地産地消で光熱費の低減
- ※海岸漂着物・廃棄物処理事業の広域化で豊かな自然環境を次世代へ
- ※災害時での地元事業者の役割は大きい、公共事業の地元優先発注強化
- ※久米島兼城港でクルーズ船にも対応するマリーナの整備促進



県海洋温度差発電実証設備